



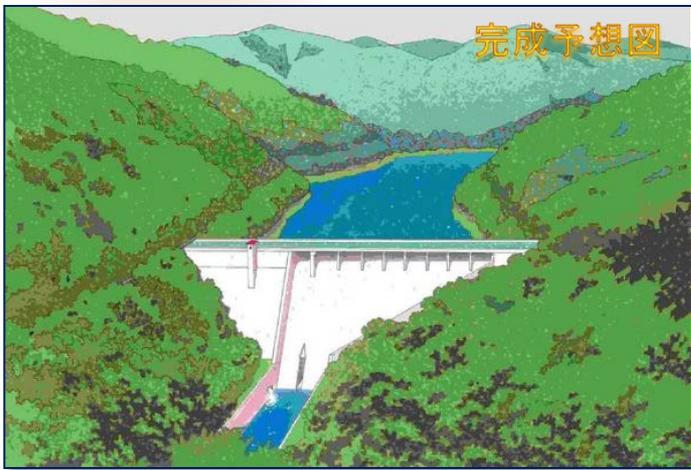
ひじまる

第5弾 大解剖！

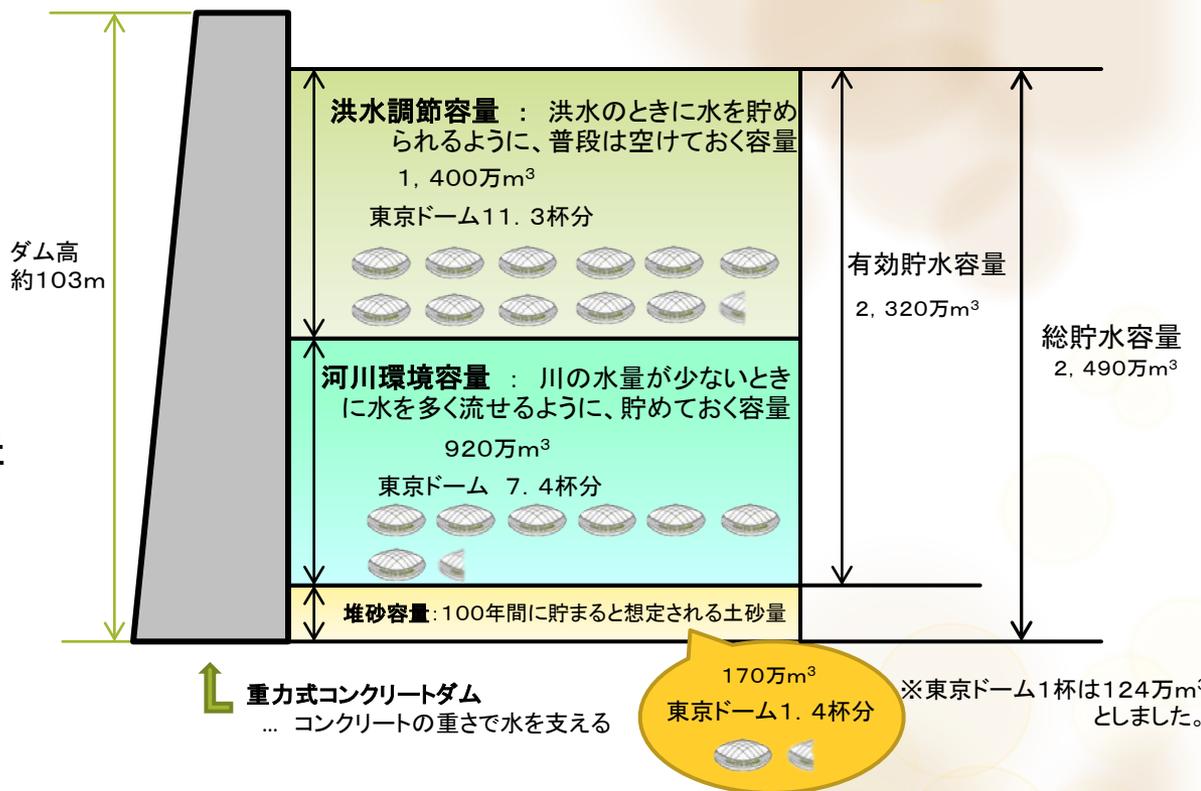
山鳥坂ダム建設事業に携わる 国交省職員の働く姿とは

山鳥坂ダム建設事業の目的

- 洪水の時にダムに入ってくる水を貯め、ダムの下流に流れる水の量を減らすことで、洪水の被害を減らします。
- 川を流れる水の量が少ないときにダムに貯めた水を下流に流すことで、魚などが生活するのに適した豊かな水の流れを確保します。



山鳥坂ダムの大きさ



今回のインタビューは、山鳥坂ダム工事事務所 調査設計課・用地課・工務課の各課長に、山鳥坂ダム建設事業について話を聞きました。
記事はこちら→

調査設計課

調査設計課は、課長・建設専門官・係長・係員・期間業務職員の5名で頑張っています。また、経験豊富な事業対策官の助けももらいながら仕事を進めています。



■ 調査設計課の紹介をおねがいます

調査設計課は若さに溢れており、特に20代の2人は工事現場で活躍している職人さんにご協力いただきながら現場の様子を伝えたり、地域のお祭りでダムの役割や効果を伝えたり、ホームページを工夫したりと、多くの皆さんにダムのことを知っていただけるようにすることにも力を注いでいます。

■ どんな業務を担当していますか

山鳥坂ダム建設事業では、現在地質調査や動植物・魚類の生態調査などを行っています。

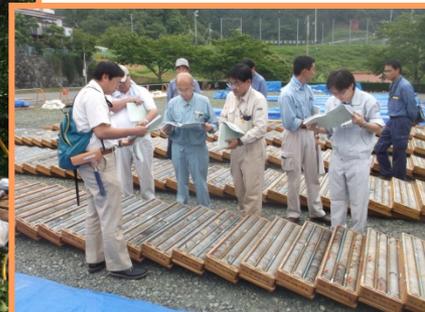
山鳥坂ダムのほか、鹿野川ダムの水質調査や発電量に関わる調査なども担当しています。

■ 具体的にどのような事を行っていますか

地質調査は、コンクリートのダム本体、ダム湖に架かる橋、新しい道路などをつくる場所の地盤の強さなどを調べるために行う大変重要なものです。

通常は、ボーリングといって地盤を直径10cm弱の筒状にくり抜いて調べますが、ダム本体を建設する場所では、人が通れるほどの小さなトンネルを100m前後掘って岩盤内部を分析する調査も行います。

調査の実施にあたっては、地域の皆様にご理解をいただけるよう、事前に調査内容を説明させていただくとともに、周辺の環境に極力影響を及ぼさないように必要な対策を講じています。





鳥類調査の様子



■日々の仕事の中で感じる やりがいは何ですか

肱川流域にお住まいの皆様が今よりも快適に安心して暮らせるために、洪水被害を減らす、川の流れを豊かにする、不便な生活道路を改良する、というようなことを行うのは民間企業だけでは難しく、私たち行政ならではの仕事ですので、やりがいは大きいです。

『そういえば雨が強かったけど昔みたいには家が浸からなくなったな』、『道路ができて気軽に街に行けるようになったな』と、将来ふとと思っていただけるようになれば本望です。

私たちが実施しているダム事業は普段の生活とはあまり馴染みがないこともあって、ダムの役割を分かっていたことが難しいときもありますが、地域の皆様に時間をかけて説明させていただいたときに『ダムのおかげで洪水が減る仕組みがなんとなく分かったわ。』というお言葉をいただいたり、『ダムのことをたくさん教えてくれてありがとう。お仕事頑張ってる。』という応援のお言葉をいただけたりしたときはとても嬉しく思います。

そんな温かいお言葉をいただいたときには、もっと頑張ろうと思います。

また、動植物の生態調査では、工事の実施によって自然環境に影響を及ぼすことのないよう観察しており、必要な場合には希少な動植物を移動する場合があります。

また、河辺川などにすむ魚の状況も調査しています。



魚類生息密度調査
(潜水観察)→

山鳥坂ダム工事事務所

用地課



高木用地課長

用地課には、課長・建設専門官・第一係長・第二係長・係員・期間業務職員がおり、総勢6名体制で日々業務を行っています。

■ 用地課の紹介をおねがいします

山鳥坂ダム工事事務所の用地課職員は、仕事柄、皆様のご自宅にお伺いしたり、現場に出かけたりする機会が非常に多いため、とにかく早く名前と顔を覚えていただけるよう、皆様をお見かけしたらお声かけするように心がけておりますので、今後ともよろしく願います。

■ どんな業務を担当していますか

土地を所有されている皆様にお願ひして、山鳥坂ダム建設事業に必要な土地をお譲りいただくのが私たちの主な業務です。具体的には、土地所有者の皆様のご了解をいただき、まずはお譲りいただく範囲の測量・調査を行い、その結果をもとに補償させていただき金額を算出した上で、皆様と協議させていただきます。その後、皆様からご同意をいただければ土地売買契約等を締結し、建物等の移転をしていただくこととなります。



土地所有者の皆様
境界を確認してもらっている様子



■ 日々の仕事の中で感じる

やりがいとはなんですか

やはり、私たちの**最も**大事な仕事は、事業に必要な土地をお譲りいただくために、皆様と補償の協議をさせていただくことです。

このため、最初はなかなかお話を聞いていただけなかった方でも、何度もお伺いしてご相談をさせていただくことで、次第にお話を聞いてもらえるようになった時には、すごくやりがいを感じます。

また、ご契約をいただき移転された方と**地**元行事などでお会いした際に、元気なお顔を見せて下さった時には、この仕事を続けていてよかったとすごく感じます。

これからも、皆様に安心してお話を聞いていただけるような、信頼できる存在となれるように頑張りたいと思います。



■ 現場での仕事が多いのですか

土地をお譲りいただく**業**務と言えば、一日中、皆様のお宅や現場に出向いて仕事をしているように思われるかもしれませんが、**実**際は補償金額の算定や契約書類作成、登記手続きなど所内での事務**作**業も多く、黙々とパソコンの画面に向かって書類作成しているような日もあります。

皆様と補償の協議をさせて

いただくことが**主**な仕事であり、おしゃべり好きが多い？ので、そんな日は自然と独り言が多くなります(笑)



■ 地域の方々へ一言おねがいします

事業にご協力をいただいた皆様には、長年住み慣れた、また大事に守ってこられた大切な土地をお譲りいただき、心より**感**謝を申し上げます。

これからも、皆様にご理解、ご納得をいただけるように、**誠**心誠意ご相談をさせていただきたいと思いますので、今後とも事業へのご協力をよろしくお願い致します。

山鳥坂ダム工事事務所

工務課



壬生工務課長

工務課には、課長、建設監督官、工務第一係長、工務第二係長、期間業務職員がおり、総勢5名の体制で日々業務を行っています。

■ 工務課の紹介をおねがいます

山鳥坂ダム工事事務所の工務課では、**二大プロジェクト**である山鳥坂ダム建設事業と鹿野川ダム改造事業の**設計**や**工事**を担当しています。

洪水に強く、豊かな水が流れる**肱川流域**を**目**指し、両事業が一日も早く完成できるよう頑張っています。

■ どんな業務を担当していますか

山鳥坂ダム建設事業に関しては、主に県道小田河辺大洲線の付替道路、ダム湖を横断する橋梁や工事用道路などの計画を地域の方にご説明した後、詳細な設計作業を経て工事の**発注**を行っています。

また、工事中に生じるさまざまな課題をその都度解決し、工事が円滑に進められるように**工**程管理を行うのも大事な仕事です。



工事中



至 大洲

敷水地区
付替県道整備状況



至 河辺

■ 日々の仕事の中で感じる やりがいはなんですか

肱川流域は、近年だけでも平成7年、16年、17年、23年と度重なる洪水被害に苦しめられていることから、山鳥坂ダム・鹿野川ダム改造の両事業を**着実**に進めることが何よりも重要と考えています。

ダム建設は、事業が完成するまでに長い時間がかかることから、**計画的**に事業を進めることが大事です。その難しさを日々痛感していますが、逆にその分やりがいを感じています。

洪水は起きないに越したことはありませんが、これまでも、自分の関わった事業が効果を発揮し、「被害が少なくて済んだ」といったお**声**をいただいたときは、それまでの苦労を忘れ、お役に立てて良かったと感じる瞬間です。



【現地調査の様子】
設計や工事の前に現場の様子がどうなっているのか
実際に行って調べています

■ 地域の方々へ一言おねがいます

山鳥坂ダム建設のために、大事な土地をお譲りいただいた皆様に深く**感謝**しております。
県道小田河辺大洲線の付替道路工事等の実施にあたりましては、狭い現道にたくさん工事用車両が通行するなどにより、地域の皆様にご迷惑をおかけして大変申し訳ございません。

関係者一同、事業の**早期**完成を目指し最大限注意を払って作業を進めてまいりますので、引き続きご協力いただけますようよろしくお願いいたします。



竹田課長

総務課

総務課は主に事務所内での経理契約関係や人事厚生関係の、どちらかという「縁の下の力持ち」的な立場で仕事をしています。派手さのない仕事ですが、「総務課が無ければ山鳥坂ダム工事事務所の業務は前に向いて進まない」という気概を持っています。

デスクワークが主で現場へ出ることも少なく、地元の皆さまと顔を合わすことも少ないのですが、クロッケー大会等で交流させていただきよう心掛けています。

よろしくお願いいたします！

ちなみに...
総務課・事業計画課では
こんな仕事をしているよ！



新川課長

事業計画課

事業計画課は、課長・専門職・係長3人・期間業務職員の6人で主に鹿野川ダムの維持管理を行っています。

鹿野川ダムからの放流では、昼夜問わず少しでも下流の浸水被害等が少なくなるように頑張っています。鹿野川ダム見学も随時行っていますのでお気軽にお問い合わせください。



あとがき



今回のインタビューは、山鳥坂ダム建設事業に携わる事務所の職員にスポットを当てました。



事務所職員はデスクワークが主だと思われがちですが、実際には現場へ行くことも多く、登ることが困難な急斜面に行き作業することもあるそうです。私は工務課で仕事をしていますので、他の課が日々どのような業務を進めているか具体的にはわかりませんでした。今回のインタビューを通して調査設計課や用地課の業務と工事が密接に関わっていくのだと改めて感じることができました。

4月から働きはじめ、わからない事ばかりの中、少しずつダムについて勉強してきましたが、インタビューをさせていただいて少しだけですが以前よりも、山鳥坂ダム建設事業の全体像を知ることができたように思います。

